


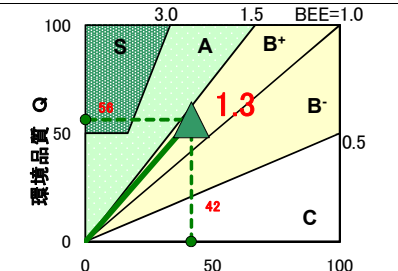
# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヒューリック福岡ビル建替計画	階数	地上19F地下3F塔屋2F		
建設地	福岡県福岡市	構造	S造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	800 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,736 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所、飲食店、ホテル、等	評価の段階	基本設計段階評価		
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2022年3月1日		
敷地面積	1,452 m <sup>2</sup>	作成者	中塚 大介		
建築面積	1,084 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月1日		
延床面積	20,859 m <sup>2</sup>	確認者	塩谷 尚斉		

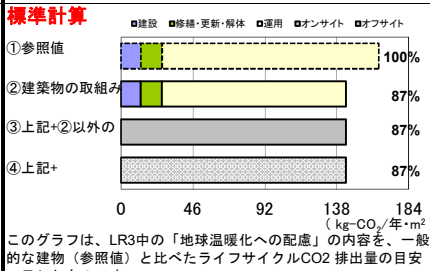
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

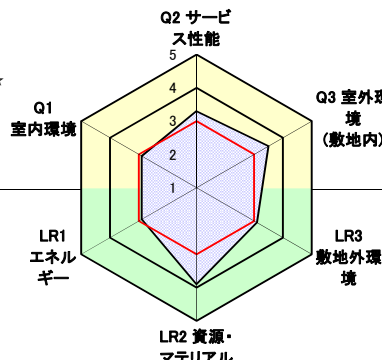


### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算



### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

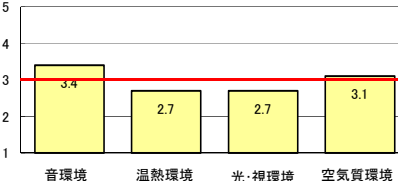


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

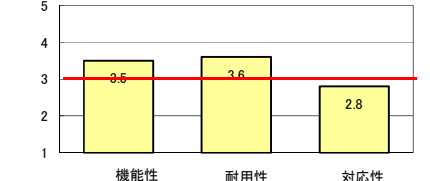
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9



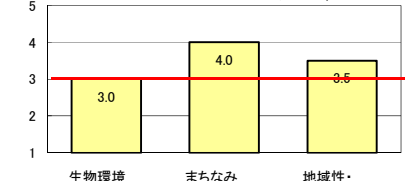
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3



#### Q3 室外環境(敷地内)

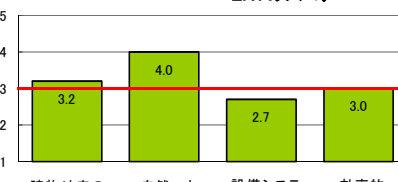
Q3のスコア = 3.5



**LR のスコア = 3.3**

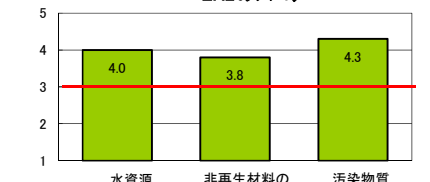
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9



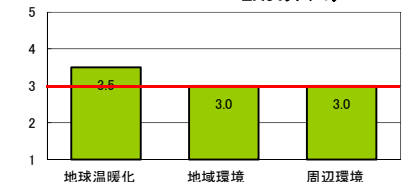
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・主要な歩行者動線沿いの壁面緑化の設置や、上層階には屋上緑化を計画し、積極的な緑化の計画に努めた、又、幹線道路からアイストップとなる様にデザインの検討を行い、良好な景観形成になる様に配慮した。	<b>その他</b> 0	
<b>Q1 室内環境</b> ・開口部遮音性能はT-2相当とし、遮音性能の向上に努めた。 ・空調は細かくゾーン分けを行い、尚且つゾーン毎に冷房・暖房の選択が可能な空調システムを採用し、室内環	<b>Q2 サービス性能</b> ・ホテル階では、十分な天井高さを確保した、又、事前に内装計画を十分に行うことでより快適な空間を提供出来るように努めた。 ・制震構造を採用する事で、大地震の揺れ、躯体損傷を	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・北西端部と南東端部には壁面緑化を設置し、これを繋ぐ様に帯状の緑化を配置する事で、歩行者に心地よい空間となる様に配慮した、又、北西端部の壁面緑化ではパーゴラ、ベンチを設置し、ドライミストにより憩いの
<b>LR1 エネルギー</b> ・オフィス外装サッシから自然換気システムを採用し、省エネルギー化を図った。 又、太陽光発電を設置する事で一層の省エネルギー化が図れる様に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型器具を採用する事で積極的に節水を図り、又、仕上げ材にリサイクル材を採用する事で省資源化に配慮した。 ・雨水、雑排水を利用する事で、水資源の有効活用を図った。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・環境の配慮として、ライフサイクルCO <sub>2</sub> の低減を図った。 ・周辺環境に配慮し、ほとんどの設備機器を地上+10m以上の位置に設置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される